

第8回沼田市市民構想会議（会議概要）

- 1 日 時 平成27年12月22日（火）午後2時から午後4時10分
- 2 場 所 沼田市役所 北庁舎 第二・第三会議室
- 3 出席者 委員22名（欠席14名）
アドバイザー 篠田暢之氏
沼田市 総務部長、市民部長、都市建設部長、教育部長
（事務局：企画課長、企画課長補佐兼企画係長）

4 会議内容

(1) 沼田市第六次総合計画基本構想について

（協議テーマ：農業、林業、商業、工業、観光、都市基盤など）

各委員からの主な意見

- ・ 利根沼田地域は、こんにゃく、りんご、野菜などの質のよい農産物がそろっているので、都市の消費者にとっては6次産業化が有効な手段ではないかと思っている。利根実業高校においても様々な取組を行っている。また、観光と連携した農産物のブランド化が図られればと思っている。
今後、人口減少や高齢化が進行することにより所得が減少する。美味しい割安なB級グルメのニーズがあると思う。高齢者は買い物に行きたいが足がないので、宅配が必要になってくる。
この地域は、美味しい、低価格であるB級の農産物を作り、買える供給基地になると思う。このような仕組みづくりは、単独ではできない。老人会、学校、病院などに協力してもらうことが必要であると思っている。
配付された資料に農業の振興についての記載があるが、文章だけで数値化されていないのが残念である。
- ・ 過日、TPPの大筋合意されたことに不安がある。自分は、酪農と繁殖和牛の仕事をしている。昭和38年に全国で41万戸あった酪農家が、平成26年には18,600戸、約96%減少した。乳牛頭数は、10年前までは増加していたが、その後は減少している。その影響もあり、牛が高騰している。今年りんご、こんにゃくの相場はよいとの話を聞いている。ガットウルグアイラウンドの時に国が農家に奨励金を付けて作目の転換を行ったことにより、小規模農家が減少し、農業が大規模化してきた。これにより価格の安定化が図られてきた。しかし、ここ10年で農家数が減少し、農産物の値段が高くなってきている。今後は、農産物の値段が高くなるのではないかと思っている。
世界に目を向けると、現在73億人いる人口が2050年には、97億人になるとの推計が出ており、世界的には食糧不足が懸念されている。
6次化の言葉は新しいが、実際は30年前からやっている。沼田農協の漬物が成功例で、この周辺では昭和村のグリーンリーフさんなども行ってきているが、全部は成功していない。6次化すれば所得が上がるように言われているが、決してそうではなく違和感を持っている。必要性は感じている。
TPPにより農産物の値段が高くなるとすれば、規模を拡大し、企業的な経営を目指すことも一つの方法でないかと思っている。

J Aも統合している時代である。人口も減少しているし、農家数も減少している。今後は利根沼田地域として、広域的な視点で広域化を目指す。広域的な組織づくりを行い、販売していく仕組みづくりが必要ではないかと思っている。

6次化を否定しているわけではないが、6次化を進めても販売する場所がない。望郷の湯にある農産物直売所の工夫が必要だと思った。

- ・ 農業の大規模化が進んでいる。家の周りの畑の9割くらいがこんにゃく畑になっている。りんご畑もあるが、土地改良後は、こんにゃく畑になっている。
- ・ 耕作農家は昭和村の方が多い。今年はずいぶん相場がよかったという話を聞いている。品種改良も進み増産できるようになったことから、農家数は減少しても生産性は減少していない。日本の農業者の平均年齢は66歳くらいであり、10年後には70代後半になってしまう。農家数は減少しているが、酪農は比較的后継者がいる。これからの農業を維持していくためには大規模化が必要になってきている。
- ・ 農業については、TPPの対応を心配している。8割以上の品目について関税撤廃の方向にあり、国はその対応策として補正予算で組んでいるようだ。

今後、消費者は、質の問題もあると思うが、安い農産物を求めてくる。政府が打開策をどう打ち出していくのか、その動向も見ながら本市の農業、群馬県の農業振興策を詰めていく必要があると思っている。

- ・ 政府の補正予算の方向性は決定している。その1/3が畜産、特に影響が大きいのが牛肉である。牛肉の輸入については、輸出国である米国、オーストラリアの牛肉を中国、韓国が買っているため、日本が買えない状況にある。このようなことから国内の牛肉が高くなっている。
- ・ 屋形原の農地も土地改良が終了したが、地元の農家が少ないため、昭和村の大規模農家がこんにゃくを作っている。今後、農産物の6次化をどのように進めていくのか。天狗枝豆も6次産業化の産物、りんごは、ぐんま名月の人気が出てきている。農業後継者がいないと6次化は進められないので、農業後継者を育てる努力をしていく必要がある。

農産物の直売所については、川場の田園プラザの人気が高いが、望郷の湯の直売所はどうか。場所はよいので、宣伝が不足しているのではないかと感じている。

- ・ 市は利根実業高校から東に向けて環状線の用地買収が進んでいる。また、県事業で戸鹿野橋の掛け替えの話も出ている。大規模道路の計画に伴い、道路沿いの周辺の土地を利用した農産物直売所の実現性の場所も検討したらどうかと思っている。
- ・ 高齢化と農業について発言したい。

田園プラザには、高齢者が出荷し、現金収入を得ている。農家に生産年齢はないと思っている。販売できる場所があれば現金化につながり収入が安定し、働くことにより健康でいることもできると思う。農業でお金を稼げる仕組みづくりが大事だと思っている。

農産物直売所で直売することも必要だと思うし、インターネット販売の必要性も感じている。

- ・ インターネット販売の仕組みづくりの必要性を感じている。
- ・ 消費者の立場で発言したい。

前橋から三国峠までの国道17号の沿線上に道の駅がいくつあるかご存じか。旧

子持村に1箇所あるだけ。実際に道の駅を造るとしたら、場所はあるのか。ある程度、現実的なことも考慮した上で、アイデアを出し合うことが必要ではないかと思う。

- ・ 観光面から言えば、通過点でなく、1～2時間滞在してもらえる施設がほしい。木工場は個人経営になっているので、集合した施設として木工体験ができる場所や沼田のお菓子を集めたお菓子売り場などがあってもよいと思う。沼田公園の野球場には、博物館的なものがあればよいと思う。長野県の松代には真田文書館がある。とにかく客が足をとめる場所がほしい。

沼田のパンフレットやリーフレットについては、全体を集約したものが必要だと思っている。

野球場は既に別の場所にあるので、そこを充実させていけばよいと思う。

来年度には、通勤者に対する通勤手当の非課税限度額が引き上げられるとのことなので、Uターン者対策、空き家対策、駅周辺の駐車場整備を合わせて行っていたらどうかと思っている。

- ・ 農業と観光について発言したい。
利根町の3小学校が統合し、現在の利根東小に新設するとのことだが、吹割の滝周辺の駐車場整備がされていないので、そこを活用できれば観光客の呼び込みができるのではないかと思っている。
- ・ 利根町の小学校統合の話が進んでいる。新しい校舎を造るとの話を聞いているが、そのへんの状況を聞かせてほしい。
- ・ 吹割の滝周辺に市営駐車場がほしい。
- ・ 観光について発言したい。

観光都市として、沼田城建設を段階的に進めていく上で、城門の設置や城堀の再現ができればよいと思う。

観光農園（センター）として、1箇所に集約し全国にPRしていくことや120号から老神温泉までの道路整備の必要性も感じている。

都市基盤について、グリーンベル21は、街なか活性化のシンボリック的存在である。その周辺の整備として、景観を重視した住民参加による花いっぱい運動の展開（歩道に花壇整備等）。また、沼田公園を沼田城址公園として名称を統一したらどうかと思う。

沼田駅から沼田公園まで楽しく歩けるような整備を行えば、話題づくり、PRができるのではないかと思う。

- ・ 観光についても、実際に現地を見てから意見を言ってもらったらよいと思う。また、広報ぬまたや商工ぬまた等もよく見てほしい。そうすれば、また異なった視点で発言できるのではないかと感じる。
- ・ 街なか再生について、昔のにぎわいを取り戻すと言っているが、最終的にどのような形になるのか
- ・ 商店街の方やそれぞれの立場の方々の感覚があると思う。
- ・ 街なかの空き店舗対策の記事が載っていたが。
- ・ 現在、街なかの空き店舗を活用し、起業家の人に補助を行う事業を進めている。
- ・ 補助制度のあり方等の工夫をしてもらいたい。

- ・ 先程話が出たが、今後は買い物弱者が増加する傾向にあると思う。
- ・ 私は材木業を営んでいるが、今回のTPPに関しては、既に一部は撤廃済みであることから、それほど影響を受けていない。
- ・ 観光について発言したい。
先程から話題が出ている田園プラザは、身近な農業と観光が連携した成功事例だと思っている。
立地面、温泉施設があることを考慮すると、望郷の湯の方がよいと思っている。
グルメ、子どもの遊び場、宣伝力が必要ではないかと思う。
子育て世代が、親を連れてくると親子3世代になる。望郷の湯から見る河岸段丘の景色はすばらしいと思う。芸能人のタモリさんが河岸段丘を好きなことは有名な話であるので、このような人を呼べれば宣伝につながるのではないか。そのような仕掛けづくりも是非お願いしたい。
- ・ 一般市民の情報を知る意味において、市民アンケートの結果が公表されていない。

(2) その他

次回の会議は、1月27日（水）午後2時から沼田市役所北庁舎第二・第三会議室で開催。